

DVDナビゲーション内蔵
DVD/CD AVシステム

AVN2203D

取扱説明書

オーディオ編

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、

この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 本機が故障したときにしていただきたいこと
 ワンポイント	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

はじめに

本書の見方	6
特長	8
ご使用になる前に	10
ディスクについて	11
液晶パネルについて	13
TVについて	13

基本操作

モードの切り替え方	14
モードを切り替える	14
操作画面の表示	14
各モードの操作画面	15
音の調整	16
主音量の調整	16
操作音の設定	16
音質の調整	17
DSP（音場）の設定	18
DSP（音場）モードを 設定する ...	18
DSP（音場）の調整、記憶	18
DSP（音場）レベルを リセットする ...	18
EQ（イコライザ）の調整	19
音質を設定する	19
EQの調整、記憶	19
EQカーブの作成	20
各周波数の微調整	20
EQカーブをリセットする	20
リスニングポジションの設定	21
音量バランスの調整	22
小音量時の低・高音調整	23
サブウーファの調整	23
画面の調整・設定	24

画質調整画面の表示	24
ライト点灯時に昼画表示に するには ...	25
画面を消すときは	25
画質の調整	26
壁紙の切り替え	26
優先画面の設定	27
画面モード切り替え	28

ラジオの操作

ラジオの使い方	29
ラジオを聞く	29
聞きたい放送局を選ぶ	29
手動で選ぶ	29
自動で選ぶ	29
プリセットスイッチから選ぶ	29
放送局を記憶する	30
マニュアル（手動）で 記憶する ...	30
AUTO.P（自動）で記憶する	30
AUTO.Pで記憶した放送局を 変更する ...	30
エリアスイッチについて	31
局名スイッチについて	31
交通情報を受信する	32
周波数を変更する	32
ラジオを止める	32

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方	33
CDを聞く	33
聞きたい曲を選ぶ	33
早送り・早戻しする	34
聞きたい曲を探す	34
同じ曲を繰り返して聞く	34

曲の順番をランダムに聞く	34
CDを止める	34

CDチェンジャーの操作

CDチェンジャーの使い方	35
CDを聞く	35
聞きたい曲を選ぶ	35
早送り・早戻しする	35
聞きたいCDを選ぶ	35
チェンジャー内の全CDから	
聞きたい曲やCDを探す ...	36
聞きたい曲を探す	36
聞きたいCDを探す	36
聞きたい曲や同じCDを	
繰り返し聞く ...	36
いま聞いている曲を繰り返し	
再生する ...	36
いま聞いているCDを繰り返し	
再生する ...	36
曲の順番をランダムに聞く	36
いま聞いているCDの中から	
ランダムに聞く ...	36
チェンジャー内全CDの中から	
ランダムに聞く ...	36
CDを止める	36

MDチェンジャーの操作

MDチェンジャーの使い方	37
MDを聞く	37
聞きたい曲を選ぶ	37
早送り・早戻しする	37
聞きたいMDを選ぶ	37
チェンジャー内の全MDから	
聞きたい曲やMDを探す ...	38
聞きたい曲を探す	38

聞きたいMDを探す	38
聞きたい曲や同じMDを	
繰り返し聞く ...	38
いま聞いている曲を繰り返し	
再生する ...	38
いま聞いているMDを繰り返し	
再生する ...	38
曲の順番をランダムに聞く	38
いま聞いているMDの中から	
ランダムに聞く ...	38
チェンジャー内全MDの中から	
ランダムに聞く ...	38
MDのタイトルや曲名などを	
表示する ...	38
MDを止める	38

TV/VTRの操作

TVの使い方	39
TVを見る	39
見たいチャンネルを選ぶ	40
手で選ぶ	40
自動で選ぶ	40
プリセットスイッチから選ぶ ...	40
チャンネルを記憶する	40
マニュアル（手動）で	
記憶する ...	40
AUTO.P（自動）で記憶する ...	40
AUTO.Pで記憶したチャンネルを	
変更する ...	40
TV設定画面の切り替え	42
エリアスイッチについて	42
局名スイッチについて	43
音声多重放送を切り替える	43
TVモードを終わる	43

VTRの使い方	44
VTRを見る	44
VTRモードを終わる	44

ご参考に

知っておいて

 いただきたいこと ... 45

 こんなメッセージが

 表示されたときは ... 45

 故障とお考えになる前に 46

目的別索引 48

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索
してお使いください。

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

MEMO

本書の見方

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

基本操作

音質の調整

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

- 1 **DSP** にタッチします。
 - 2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

- 1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。
- 調整レベルは十側、一側各5段階です。
- 2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

- 1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。
- 音場レベルが初期値にリセットされます。



DSP（音場）レベルを調整中に、別のDSP（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

EQ (イコライザ) の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 **EQ** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQの調整、記憶

メーカー調整値を簡単に調整、記憶することができます。

1 調整したい音質モード、**EQ1** ~ **EQ5** にタッチして、音質モードを呼び出します。

2 **▲**、または **▼** にタッチして、好みのレベルに調整します。

●調整レベルは+側、-側各5段階です。

3 記憶したいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を “ピーッ” と音がするまでタッチします。

●記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。



ワンポイント

- 次のときは **▲**、または **▼** にタッチしても調整できません。
 - 各音質モードをお好みにより周波数別で調整したとき（メーカー初期値以外）
 - FLAT** にタッチしたとき
- お好みに合わせて記憶した音質モードを呼び出し、周波数別に調整すると、調整レベルの数値は0にもどります。（調整レベルは記憶されています。）

次ページに続く

19

次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

特長

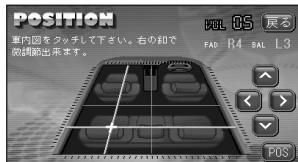
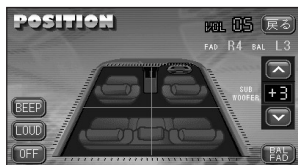
さまざまな演奏会場を擬似的に再現するDSP機能 (18ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやソースによって、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現し、楽しむことができます。



好みの場所に音場の中心を設定するPOS、BAL/FAD機能 (21、22ページ)

簡単に音場の中心を設定することができます。また、各スピーカーの音量バランスを調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。



緻密に調整できるイコライザ機能 (19ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやお好みに合わせた音質を簡単に選ぶことができます。また、1つの音域を強調することも可能です。



壁紙の切り替え (26ページ)

インフォメーション（情報）画面や、オーディオ操作画面などの背景色をお好みの色に切り替えることができます。



さまざまな画面サイズに対応 できる画面モード切り替え機能

(28ページ)

テレビなどの標準画サイズから映画などのワイドサイズまで4種類の中から画面サイズを選び、表示することができます。



旅先でも簡単に放送局を探し出す エリアプリセット機能

(31、42ページ)

旅先など、放送局がわからない場所でも、その地域の放送局を表示、記憶することができます。一時的に記憶する機能なので、あらかじめ記憶させていた放送局もなくなりません。



システムアップ

●CDチェンジャー (35ページ) ・MDチェンジャー (37ページ)

複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。

また、それぞれのチェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。

●ビデオ接続コード

別売のビデオ接続コードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

ご使用になる前に



走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



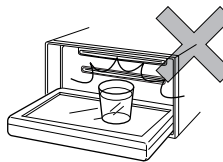
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



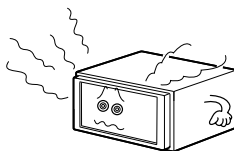
交通事故の原因となります。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。



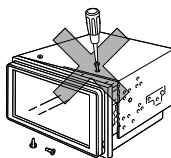
故障の原因となります。

故障したままの使用は絶対しないでください。煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



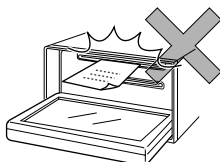
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



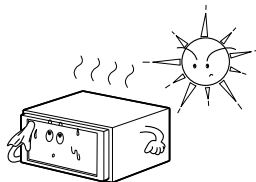
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。



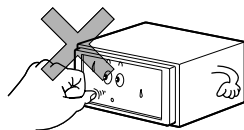
故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げたからお使いください。



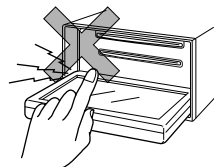
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。

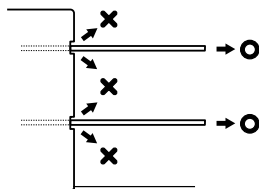


故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。



本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらかき出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。

ディスクについて

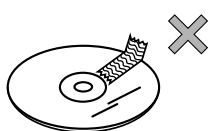
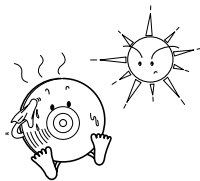


- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。
- コピーコントロールCD、レーベルゲートCDは再生できない場合があります。ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。
- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- 音楽用CDは下記のマークのついたディスクが使用できます。



ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光を避け、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。
- 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

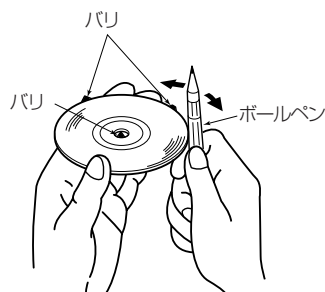


ご使用になる前に



新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



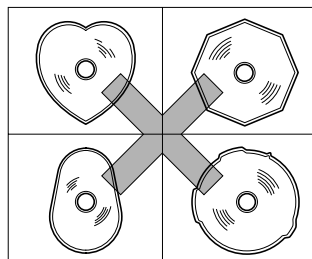
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



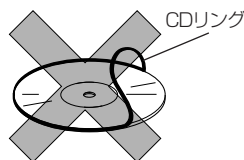
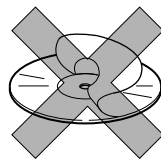
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリーについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなくなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



液晶パネルについて



ワンポイント

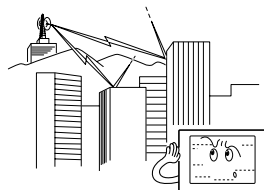
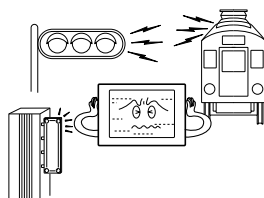
- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TVについて



ワンポイント

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、TV、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



モードの切り替え方

モードを切り替える

- 1 **SOURCE** を押して、オーディオモードのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたモードがスクリーン表示（オンスクリーン表示）されます。



● オンスクリーン画面

操作画面の表示

- 1 **CONT** を押します。



各モードの操作画面

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●TV操作画面



●CDチェンジャー操作画面（別売）



●MDチェンジャー操作画面（別売）



「優先画面の設定」（27ページ）で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上（TV操作画面では約6秒以上）操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されオンスクリーン表示に切り替わり、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- 調整レベルは0～80です。

- ⊕（上側）：音量UP（大きくなる）
 - ⊖（下側）：音量DOWN（小さくなる）



操作音の設定

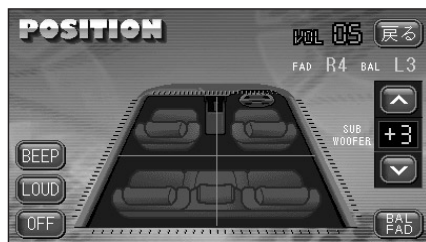
パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音（BEEP音）を解除することができます。

1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR設定画面で**POS**にタッチします。



2 **BEEP** にタッチします。

- タッチスイッチの色が反転し、操作音が解除（消音）になります。



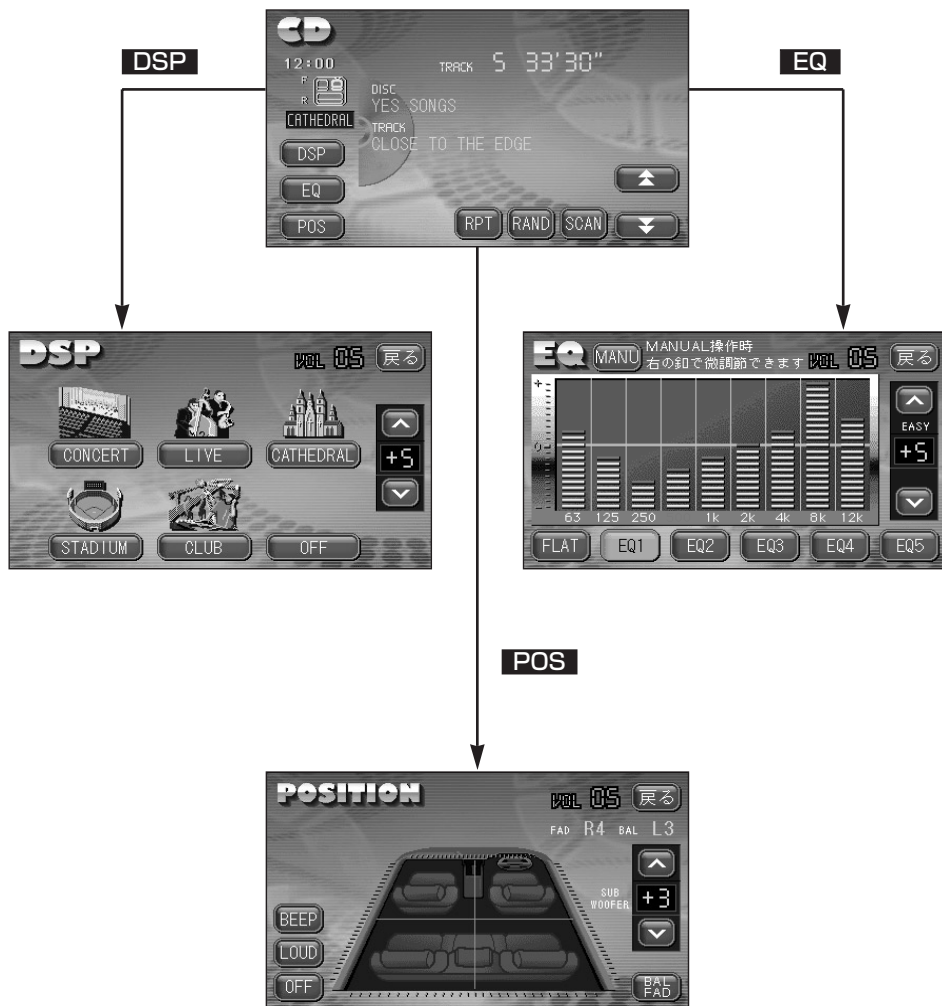
ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- オーディオモードを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。
- TV、VTR操作画面では**設定**にタッチすると音質調整のスイッチが表示されます。

音質の調整

音質の調整は、各モードの操作画面を表示させているときに、**DSP**、**EQ**、**POS** にタッチすると調整ができます。

各モードから調整を行っても共通で記憶されています。



ワンポイント

TV、VTR操作画面では**設定**にタッチすると音質調整のスイッチが表示されます。

音質の調整

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

1 **DSP** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。

●調整レベルは＋側、－側各5段階です。

2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

●音場レベルが初期値にリセットされます。



DSP（音場）レベルを調整中に、別のDSP（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

EQ (イコライザ) の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 **EQ** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQの調整、記憶

メーカー調整値を簡単に調整、記憶することができます。

1 調整したい音質モード、**EQ1** ~ **EQ5** にタッチして、音質モードを呼び出します。

2 **▲**、または **▼** にタッチして、好みのレベルに調整します。

●調整レベルは+側、-側各5段階です。

3 記憶したいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

●次のときは**▲**、または**▼**にタッチしても調整できません。

●各音質モードをお好みにより周波数別で調整したとき（メーカー初期値以外）

●**FLAT** にタッチしたとき

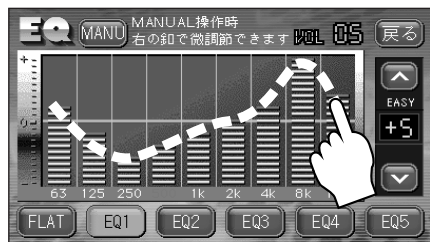
●お好みに合わせて記憶した音質モードを呼び出し、周波数別に調整すると、調整レベルの数値は0にもどります。（調整レベルは記憶されています。）

音質の調整

EQカーブの作成

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶することができます。

- 1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



- 2 記憶したいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

各周波数の微調整

お好みにより各周波数を調整することができます。

- 1 **MANU** にタッチして、マニュアルモードに切り替えます。

- MANU** が **EASY** になります。

- 2 微調整する場合は、調整したい周波数帯域にタッチし、**▲**、**▼** で微調整します。

- 選択された周波数の数字が赤色になります。

周波数帯域



- 3 記憶したいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

- 1 イコライザカーブを呼び出します。

- 2 **FLAT** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- イコライザカーブが初期値にリセットされます。



ワンポイント

- 画面上に **MANU**、画面右に“EASY”が表示されているときは、**MANU** にタッチし、**EASY** に切り替えてください。
- 微調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。

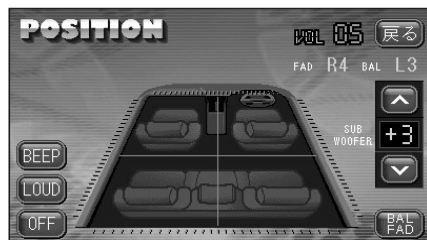
リスニングポジションの設定

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

1 **POS** にタッチします。

2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは橙色に表示が替わります。再びタッチすると設定は解除されます。表のような5つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション(位置)
	運転席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場
	前席を 中心にした音場
	後席を 中心にした音場
	全席を 中心にした音場

音質の調整

音量バランスの調整

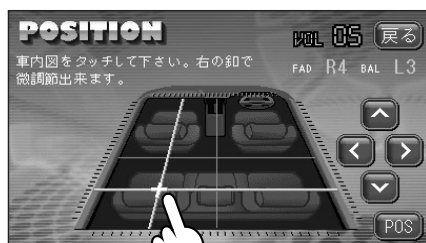
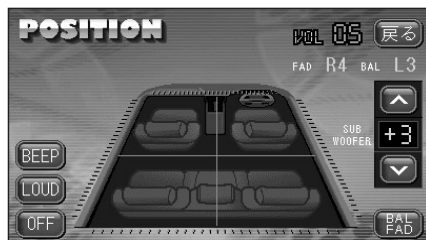
前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 **POS** にタッチします。

2 **BAL FAD** にタッチします。

3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、**▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチしてください。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



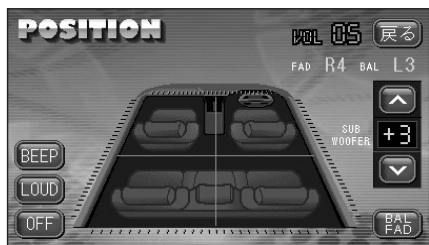
微調整時に**▲**、**▼**、**◀**、または**▶**にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度**▲**、**▼**、**◀**、または**▶**にタッチしてください。

小音量時の低・高音調整

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 POS設定画面で、**LOUD** にタッチします。

- **LOUD** にタッチすることにより、ON/OFF が切り替わります。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。

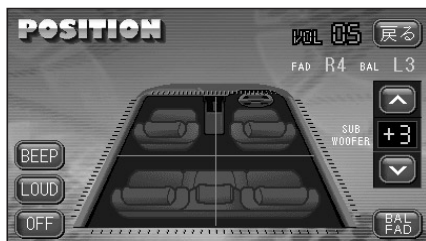


サブウーファの調整

サブウーファを接続したときに、お好みの出力レベルに調整することができます。

1 POS設定画面で、**▲**、または**▼**にタッチします。

- 出力レベルは4段階です。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



画面の調整・設定

オーディオ操作画面や、TVの画質調整、壁紙の切り替えをすることができます。また、操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

- （初期状態） ●ライト消灯時…＜昼画表示＞
●ライト点灯時…＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜TV・VTR画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

1 オーディオモードの操作画面、またはTV、VTR画面で**画質**を押します。

2 調整が完了したら、**調整完了**にタッチします。

●約20秒以上操作をしなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●TV・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示するには

1 **昼画面** にタッチすることにより、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●TV・VTR画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

●再度、画面を表示させるには、**SOURCE**を押します。



「優先画面の設定」(27ページ)で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。(**画面消** にタッチした状態にもどります。)

画面の調整・設定

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●TV・VTR画面時

■コントラスト

1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

■色合い (TV・VTR画面時のみ)

1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■色の濃さ (TV・VTR画面時のみ)

1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

壁紙の切り替え

操作画面などの壁紙を切り替えることができます。

1 画質調整画面で、**壁紙** にタッチします。

● **壁紙** にタッチすることにより、壁紙が順に切り替わります。



優先画面の設定

インフォメーション（情報）画面、オーディオ・TV操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、自動的に「解除する（もとの画面にもどる）」、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 **INFO** を押します。

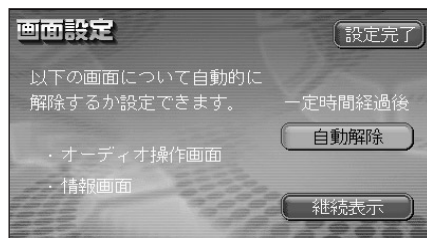
2 **画面設定** にタッチします。



3 **自動解除**、または **継続表示** にタッチします。

●各画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。

4 **設定完了** にタッチします。



優先画面設定を **自動解除** に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。

オーディオ操作画面を表示させる場合は、**CONT** を押してください。また、ACCをOFFからONにしたときに、オーディオ操作画面を表示させる場合も、同様に **CONT** を押してください。

画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 TV、VTR操作画面で**設定**にタッチします。

2 **ワイドモード**にタッチします。

●ワイドモード切り替え画面になります。

3 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または**ワイド3**にタッチします。

●ワイドモードを選択します。



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 **SOURCE** を押します。

2 AMは **AM** に、FMは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲** (上側) : 1ステップ上げるとき
- **▼** (下側) : 1ステップ下げるとき
(1ステップ: AM9kHz, FM: 0.1MHz)

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「**放送局を記憶する**」(次ページ)を参照してください。

自動で選ぶ

1 **▲**、または **▼** を“ピッ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

ラジオの使い方

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは**AUTO.P**、または**エリア**（次ページ参照）にタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- “AUTO.P”が表示され自動的に選局を始めます。“ピーツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度**AUTO.P**にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

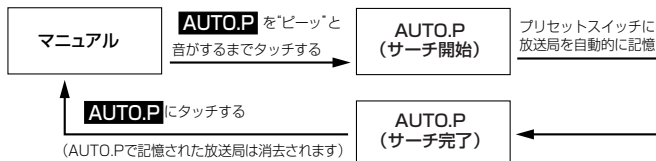
1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中、または動作後に**AUTO.P**にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 エリア にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 局名 にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。



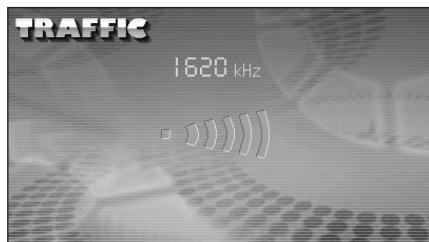
放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

ラジオの使い方

交通情報を受信する

- 1 **[T]]** を押します。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。



周波数を変更する

- 1 **[SOURCE]** を押します。
- 2 **[AM]** にタッチします。
- 3 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。
- 4 **[T]]** を“ピッ”と音がするまで押します。

ラジオを止める

- 1 **[PWR]** を押します。

- もう一度**[PWR]**を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 初期設定時は1620kHzにセットしてあります。
- バッテリーなどを交換したときは1620kHzにもどります。

CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

- 1 CDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

- 2 **CD** にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲**（上側）：次曲を選ぶとき
- **▼**（下側）：前曲を選ぶとき



CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。CD-TEXT表示は、収録タイトル文字数の多いディスクでは表示できない文字があります。

CDプレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

- 1 ▲、▼を“ピッ”と音がするまで押す、または▲、▼にタッチし続けます。

- ▲（上側）：曲を進めるとき
▲
▼（下側）：曲を戻すとき
▼

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

- 1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度**SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

- 1 **RPT** にタッチします。

- 一度**RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度**RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

- 1 **RAND** にタッチします。

- 一度**RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度**RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度**PWR** を押すと再生が再開されます。

CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CDを聞く

- 1 **SOURCE** を押します。

- 2 CDチェンジャー1台を接続している場合は**CDCH1**に、CDチェンジャー2台を接続している場合は**CDCH1**、または**CDCH2**にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

「CDプレーヤーの使い方」（33ページ）を参照してください。

早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」（前ページ）を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。
- 選択されたCDの番号が反転します。



ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

CDチェンジャーの使い方

チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す

聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(34ページ)を参照してください。

聞きたいCDを探す

1 **DISC SCAN** にタッチします。

- CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(34ページ)を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返し再生します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(34ページ)を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

- 1 **SOURCE** を押します。
- 2 **MDCH** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 **▲**、または **▼** を押します。
- **▲** (上側) : 次曲を選ぶとき
 - **▼** (下側) : 前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

- 1 **▲**、**▼** を“ピツ”と音がするまで押す、または **▲▲**、**▼▼** にタッチし続けます。
- **▲▲** (上側) : 曲を進めるとき
 - **▼▼** (下側) : 曲を戻すとき

“ピツ”と音がすると早送り (早戻し) モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り (早戻し) します。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

- 1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。
- 選択されたMDの番号が反転します。



- MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
TITLE にタッチすると、半角文字では最大28文字まで表示できます。

- ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

MDチェンジャーの使い方

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいMDを探す

1 **DISC SCAN** にタッチします。

- MDチェンジャー内、全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 **RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** をタッチすると解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。

チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDのタイトルや曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとディスク切り替えスイッチが表示が切り替わります。

MDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。)



TVを見る

1 **SOURCE** を押します。

2 **TV** にタッチします。

- TV画面になります。
- CONT** を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。



TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

TVの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 ▲、▼を押す、または▲、▼にタッチします。

- 押すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

▲▲（上側）：
チャンネルUP（大きくなる）

▼▼（下側）：
チャンネルDOWN（小さくなる）

自動で選ぶ

- 1 ▲、▼を“ピー”と音がするまで押す、または▲、▼に“ピー”、“ピー”と2度続けて音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」右記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P** または **エリア**（42ページ参照）にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

- 1 **AUTO.P** を“ピー”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ピー”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

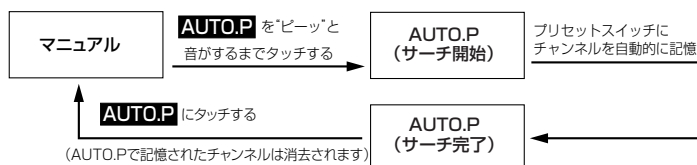
- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中、または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TVの使い方

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- エリアプリセット
- 音声多重放送の切り替え
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。

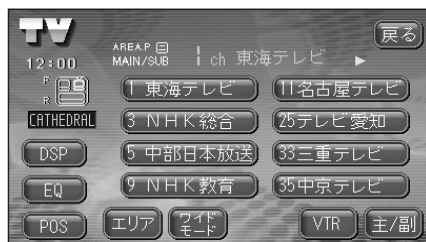


エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチをタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面にもどります。



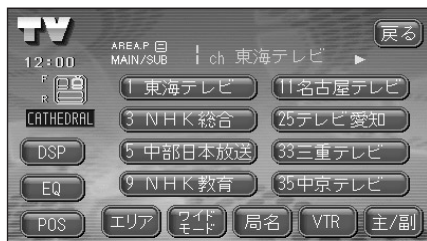
TV設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 **局名** にタッチします。

●重複した放送局名が切り替わります。

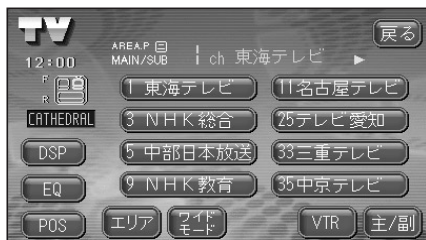


音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **主/副** をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声
MAIN SUB MAIN・SUB



TVモードを終わる

1 **PWR** を押します。

●もう一度 **PWR** を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が再受信（音声のみ）されます。



- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、**主/副** が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。)

パワースイッチ

CONT
スイッチ

SOURCE
スイッチ



VTRを見る

1 **SOURCE**を押します。

2 **TV**にタッチします。

3 **VTR**にタッチします。

- VTR画面になります。
- CONT**を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。
- TV**にタッチすると、TV画面を表示します。

VTRモードを終わる

1 **PWR**を押します。

- もう一度**PWR**を押すと再生が再開(音声のみ)されます。



VTR操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONTを押すと再度、表示します。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD検索中です	CDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を閉めてください。
CDをお確かめください	CDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの際は正しく入れてください。
CDが入っていません	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーにディスクが入っていないため。	音楽ディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※1	なんらかの原因でCDプレーヤーまたはCDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温検知でCD停止中です※2	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
CDマガジンが入っていません	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にTVを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてサイドブレーキをかけてからお楽しみください。

※1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCDをイジェクトしてから、お好みのCDを入れてください。
CDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（11ページ参照）
	CDに大きなキズやソリがある。	他のCDを入れてください。
	CDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（11ページ参照）
	CDが裏返しになっている。	CDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCDが挿入されている。	対応しているCDを挿入してください。（11ページ参照）
CDの操作画面が表示されるが、音声が出ない	MP3ファイルが収録されたディスクが挿入されている。	本機は、MP3に対応していません。
画面に CDCH1 、 CDCH2 が表示されない	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。
MDCH にタッチしても、MDチェンジャーにならない	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	SOURCE を押してください。（25ページ参照）

症 状	考えられること	処置
音声は出るが、TV映像が出ない（停車中）	サイドブレーキを引いていない。	サイドブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない	VTR入力になっている。	TV にタッチして、放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

目的別索引

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

■オーディオ操作画面や、TV・VTRの画面を見やすくしたい

「画面の調整・設定」……………P24

■操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい

「優先画面の設定」……………P27

■画面を消したい

「画面を消すときは」……………P25

■壁紙を切り替えたい

「壁紙の切り替え」……………P26

■画面をワイドモードにしたい

「画面モード切り替え」……………P28

<音の調整に関して>

■音量をかえたい

「主音量の調整」……………P16

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

「操作音の設定」……………P16

■音質をかえたい

●演奏会場を擬似的に創り出したい

「DSP（音場）の設定」……………P18

●イコライザを調整したい

「EQ（イコライザ）の調整」……………P19

●音量バランスを調整したい

「音量バランスの調整」……………P22

●小・高音量時にメリハリのある音にしたい

「小音量時の低・高音調整」……………P23

●サブウーファを調整したい

「サブウーファの調整」……………P23

オーディオ関係

ラジオの使い方について

■ラジオを聞きたい

「ラジオを聞く」……………P29

■放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」……………P29

■放送局を記憶させたい

「放送局を記憶する」……………P30

■今、いるエリアの放送局を知りたい

「エリアスイッチについて」……………P31

CD・CDチェンジャーの使い方について

■CDを聞きたい

「CDを聞く」……………P33,35

■聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」……………P33

「聞きたいCDを選ぶ」……………P35

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」……………P34

「チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す」……………P36

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聴いて聞く」……………P34

「聞きたい曲や同じCDを繰り返し聴いて聞く」……………P36

■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」……………P34,36

目的別索引

MDチェンジャーの使い方について

■MDを聞きたい

「MDを聞く」P37

■聞きたい曲やMDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」P37

「聞きたいMDを選ぶ」P37

■聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」P38

「聞きたいMDを探す」P38

■いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」P38

「いま聞いているMDを繰り返し再生する」P38

■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」P38

■MDに記録した情報を表示したい

「MDのタイトルや曲名などを表示する」P38

TV/VTRについて

TVの使い方について

■TVを見たい

「TVを見る」P39

■放送局を探したい

「見たいチャンネルを選ぶ」P40

■放送局を記憶させたい

「チャンネルを記憶する」P40

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

「TV設定画面の切り替え」P42

■今、いるエリアの放送局を知りたい

「エリアスイッチについて」P42

■今、聞いている音声を切り替えたい

「音声多重放送を切り替える」P43

■VTRを使いたい

「VTRの使い方」P44

その他

わからなくてお困りのとき

■画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」P45

■故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」P46

索引

五十音順

ア

エリアスイッチ	31,42
音質の調整	17
音声多重放送	43

カ

画質調整	24,26
壁紙	26
画面の調整	24
画面モード切り替え	28

サ

サブウーファの調整	23
主音量の調整	16
操作音の設定	16

ハ

昼画表示	24,25
------	-------

ヤ

夜画表示	24,25
------	-------

ラ

ラジオの使い方	29
---------	----

アルファベット

A

AUTO .P	30,40
---------	-------

C

CDチェンジャーの使い方	35
CDプレーヤーの使い方	33

D

DISC RAND	36,38
DISC RPT	36,38
DISC SCAN	36,38
DSP（音場）の設定	18

E

EQ（イコライザ）の調整	19
--------------	----

M

MDチェンジャーの使い方	37
--------------	----

P

POS	21
-----	----

R

RAND	34,38
RPT	34,38

S

SCAN	34,38
------	-------

T

TV設定画面	42
TVを見る	39

V

VTRの使い方	44
---------------	----

MEMO

[illegible]

MEMO

ご参考に

[illegible]

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2003

090002-25950700
0306C (N)